



富井大裕 みるための時間 TOMII MOTOHIRO TIME TO SEE

① 富井大裕 《ball sheet ball (see through)》[部分]
2014年 新潟市美術館蔵 撮影:内藤雅子

展覧会

2023年 6月6日(火) ~ 7月17日(月・祝)

画鋏、スーパーボール、ハンマー…慣れ親しんだ日用品が、富井大裕(とみい・もとひろ 1973年新潟市生まれ)の手にかかると、その色やかたち、性能をもったまま、思いがけない造形として「作品」の姿を現しはじめます。「彫刻」や「作品」が生まれてくるのはどこからなのでしょう。作家自らのディレクションのもと、当館所蔵の作品をはじめ代表作によって「展覧会」という装置を仕掛けます。

● 本展のみどころ

ナニをどうして作っているの？ これも彫刻？

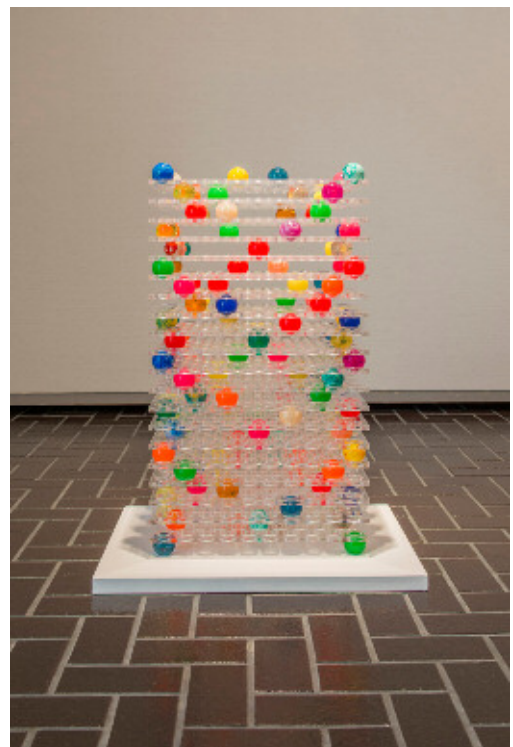
富井大裕の作品は「指示書」によってつくられます。指示書には、使うモノと、それらをどのように配置するか、ということが書かれています。それぞれの作品は何を使って、どんなルールで組み立てられているのか観察してみましょう。そこには富井が目にしたそのモノの性格が結晶しています。

代表作 & 市美術館の所蔵品が勢ぞろい！

「指示書」による作品群は2005年頃から、富井の仕事を代表するものとなりました。公立美術館での初個展となる本展では、それらの主要な作品が展示されます。新潟市美術館の所蔵する富井の作品全6点も一挙集結。

美術館とのコラボレーションにも乞うご期待

富井も高校時代から親しんでいた新潟市美術館。作品の配置も作家自身が、美術館の建築を活かしながら行いました。展覧会の体験とは何かを問いかける、空間全体を使った思わぬ仕掛けが待っています。また、常設展示室では、当館のコレクションから富井が選んだ彫刻作品を、解説を加えて展示します。美術館の建築、収蔵品とのコラボレーションにも注目です。



② 富井大裕 《ball sheet ball (see through)》
2014年 新潟市美術館蔵 撮影:内藤雅子

■同時開催 コレクション展2 「彫刻をみるための」 6月6日(火)~10月22日(日)

【お問合せ】

新潟市美術館 (荒井、岡村) TEL: 025-223-1622 E-mail: museum@city.niigata.lg.jp



③ 富井大裕 《board pencil board》
2007年 新潟市美術館蔵 撮影:柳場大



④ 富井大裕 《PP_LL#12》
2015年 新潟市美術館蔵 撮影:柳場大



⑤ 富井大裕 《woods》2005年 作家蔵
撮影:城戸保



⑥ 富井大裕 《ゴールドフィンガー》
2022年 作家蔵 撮影:柳場大



⑦ 富井大裕 《斜めの彫刻(SS)》
2020年 作家蔵 撮影:阪中隆文



⑧ 作家近影

1973年、新潟県生まれ。1999年、武蔵野美術大学大学院造形研究科彫刻コース修了。美術家。2015年、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてニューヨークに滞在。現在、武蔵野美術大学造形学部彫刻学科教授。既製品に最小限の手を加えることで、それらを固定された意味から解放し、色や形をそなえた造形要素として「彫刻」のあらたな可能性を模索する。パブリックコレクションに新潟市美術館、東京都現代美術館、東京国立近代美術館、練馬区立美術館。編著に『わからない彫刻 つくる編彫刻の教科書1』武蔵野美術大学出版局、2023年がある。

【全作品共通】 © Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

★本リリースに掲載の画像①～⑧は本展をご紹介いただける場合にかぎりすべてデータで提供可能です。

掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、使用後、データは速やかに破棄してください。

【画像使用全般に関するの注意とお願い】●展覧会名、会期・会場名のほか、**指定のクレジットを必ずご掲載ください**。●画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。●WEBにてご掲載の場合には、コピーガード(※右クリック不可)を施しダウンロード不可にしてください。●概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階でお送りくださるようお願いいたします。●掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを2部ご送付願います。

関連イベント

●アーティストトーク「みるための時間について話す時間」

日時:6月25日(日) 午後2時～(1時間30分程度)

講師:富井大裕さん(本展出品作家、美術家)

会場:新潟市美術館 2階講堂

聴講無料、定員80名(先着順・申込不要)

●担当学芸員によるギャラリートーク

6月10日(土)、7月9日(日)各日午後2時～(30分程度) 要当日観覧券

基本情報

展覧会名	「富井大裕 みるための時間」
会期	2023年6月6日(火)～2023年7月17日(月・祝) 37日間
開館時間	午前9時30分～午後6時(券売は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(7月17日(月・祝)は開館)
会場	新潟市美術館
観覧料	一般1,000円(800円)、大学生・高校生800円(600円) 中学生以下無料 *()内は20名以上の団体料金、リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引)・あっちも割引料金(新津美術館の企画展観覧券(開催から1年以内)提示で割引) *会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます *障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付でご提示下さい)
主催	新潟市美術館
協力	Yumiko Chiba Associates
お問合せ先	新潟市美術館(荒井直美、岡村秀美) 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9 TEL.025-223-1622/FAX.025-228-3051/E-MAIL museum@city.niigata.lg.jp www.ncam.jp www.facebook.com/ncam.tsunagaru/

●関連情報● 富井大裕ダブル個展 本展とあわせてぜひご覧ください

今日の彫刻 - 富井大裕展 Motohiro Tomii: Sculptures - トルソ、或いはチャーハン -

2023年7月8日(土)～9月3日(日) 休館日:月曜日(7月17日は開館)、7月18日(火)

9:30-17:00(入館は16:30まで)

会場 栃木県立美術館 企画展示室

主催 栃木県立美術館

協力 Yumiko Chiba Associates

後援 朝日新聞社宇都宮総局、宇都宮コミュニティ FM ミヤラジ、NHK 宇都宮放送局、エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、とちぎテレビ、栃木放送、日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞社、宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局(すべて予定)

出品予定作品 彫刻 約45件[約9シリーズ/約2800点]

観覧料 一般1,000(900)円、大高生600(500)円、中小生以下無料 *()内は20名以上の団体

富井大裕 みるための時間

取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆ 展覧会取材、記事掲載時の作品写真(画像データ)及び、読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAX でお申し込みください。
- ◆ 別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、使用后、データは速やかに破棄してください。
- ◆ 展覧会名、会期・会場名のほか、クレジットを必ずご掲載ください。
- ◆ 画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・変更はできません。
- ◆ WEB にてご掲載の場合にはコピーガード(※右クリック不可)を施しダウンロード不可にしてください。
- ◆ 記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆ チケットプレゼントの提供は 1 媒体につき 10 組 20 名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。
- ◆ 読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆ 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録 DVD を2部ご送付願います。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス(データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	(月 日 時頃)・取材予定なし
取材スタッフ	計 名(内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき 10 組 20 名様まで
通信欄 ※画像を希望する場合は、該当する画像の番号を記してください。	